MDHCだより　NO．５４

三河歯科衛生専門学校　　H２２．１１．１０

「ＤＨの職場は院内から“院外”の時代ですよ」

野村歯科医院　歯科衛生士　　久保田　あゆみ

今勤務している歯科医院には、私が学生時代に１期の臨床実習でお世話になりました。一般の歯科医院ですが、病院や特養・老健などの施設、居宅に診療や口腔ケアで訪問しています。

当時、知識はもちろん技術も何もなかった私ですが、指導衛生士に同行させてもらい、実際に口腔ケアをしている現場に興味、関心を持ち始め、患者さんのケア後の表情、嬉しそうな笑顔や「ありがとうね、気持ちよくなったよ！！」という一言がすごく衝撃的でした。その時に、私も「こういう衛生士になりたい」と目標ができました。

口腔内細菌が原因で、誤嚥性肺炎のリスクが高まるという研究結果も出ています。看護師や介護福祉士など様々な職種の方と連携をとりながら口腔ケアをしています。きれいになっていく口腔内を見ると嬉しく思う反面、ケアの難しさに悩むこともありますが、信頼できる仲間がいるので日々学びながら楽しく仕事をしています。

学生の皆さんもどういう衛生士になりたいか、しっかり目標を持ち、それに向かって進んでください。施設や在宅、病院での口腔ケアに興味のある方は一緒に頑張りましょう。

１　第３期臨床実習を終えて

～３期　学生アンケートより～

「実習内容で費やした時間の多いもの」

一番多かったのは診療補助で６４．１％となりました。実習期間の一番長い３期では、多くの学生が診療の流れについて理解を深め、補助業務に少し自信がついたとの感想を述べています。また、見学は２期と比較して半減しています。

『積極的な実習』を行動目標に掲げ、実践していたことが伺えます。

「実習以外での時間の使い方」

実習帳の記録が７割以上を占めています。目立った変化は１期・２期では０％だった予習が１５．４％になったことです。数名ですが、予習をして実習に臨む姿勢が出来たことは良い傾向です。

「努力したこと・勉強になったこと」

患者対応、スケーリング、バキュームテクニック、ライティング、器具・器材の準備など診療補助に関することが多くを占めました。続いて、清潔・不潔、口腔衛生指導となっています。

「大変だったこと」

『セッティングが素早く出来なかった』『補助のタイミングを合わせることが難しかった』などやはり、診療補助に関する事柄を挙げる学生が目立ちました。

「今後の実習に対する目標」

『スケーリングの技術を上げる』『スムーズな診療補助ができる』『バキューム・ライティングを確実に行う』、『患者対応の上達を目指す』など、臨床実習の総仕上げとなる４期を意識した目標を立てた学生が多くなりました。４期実習では、４月から歯科衛生士として臨床で働くことができるという自信を付けるものとなるよう願っています。

「臨床実習の感想」

『充実した実習だった』という感想の学生が多くいました。１期・２期のまだ余裕がなく、戸惑いのあった実習から、臨床の面白さを実感できるようになったようです。また、『歯科衛生士の方が皆、勉強熱心だったので、自分もいつまでも学ぶ姿勢を忘れないでいたい』等、指導者の姿を見て、学び続ける事の大切さを知ったという学生もありました。技術・知識だけでなく、学校では学べない歯科衛生士としての職業観を学ばせて頂いたことに感謝致します。

２　研修旅行（１０／２７ ～ ２９）

＜横浜・東京ディズニーランド・東京歯科大学＞

３期実習が終了し、学生達は束の間のリフレッシュの時間を過ごしました。

１日目は横浜で中華街を散策し、豪華なディナークルーズを楽しみました。２日目のＴＤＬはあいにく、寒い雨が降り、秋の最低気温を更新した日となってしまいました。それでも学生達は元気一杯でハロウィンのＴＤＬを満喫していました。

３日目は東京歯科大学解剖学教室にて阿部伸一教授による『摂食・嚥下』についての講義を受講しました。

＜東京歯科大学 ～受講風景～＞

３　今後の主な行事予定

・臨床実習４期終了　12/8（水）
・臨床実習４期まとめ
　国家試験集中学習開講式　12/9（木）
・冬休み　12/21（火）～ 1/10（月）
・全国統一模擬試験　1/11（火）・1/27（木）
・卒業試験　1/17（月）～ 1/21（金）
・国家試験　2/27（日）
・卒業式　3/10（木）